

砂防事業 事後評価結果

担当課 : 砂防防災課

事業の概要

担当課長名 山名 剛

事業名	急傾斜地崩壊対策事業	事業区分	急傾斜地崩壊対策事業	事業主体	徳島県
事業箇所	三好市池田町馬路	箇所名	馬路		

事業概要

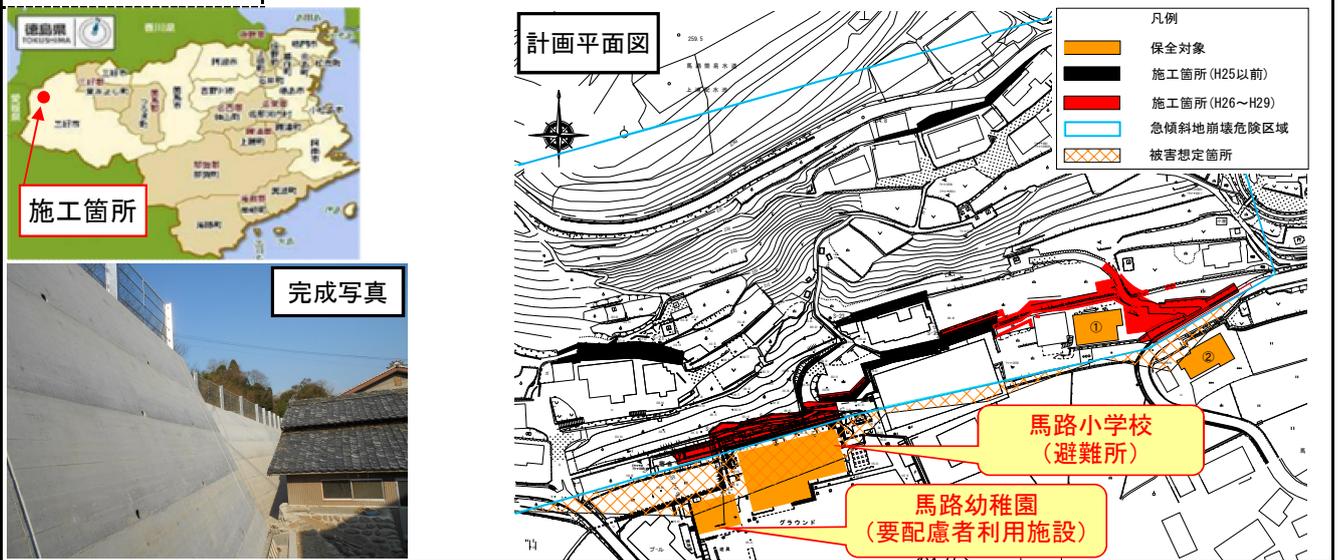
擁壁工 L=171m, 落石防護柵工 L=156m, 水路工 L=142m

事業の目的・必要性

馬路は三好市池田町に位置する、がけ高35m、勾配35°の急傾斜地崩壊危険区域である。保全対象には人家2戸、避難所である馬路小学校、及び要配慮者利用施設である馬路幼稚園が含まれる。このことから当事業では、急傾斜地崩壊防止施設の設置等を行うことによって、急傾斜地の崩壊による災害から住民の生命を保護し、もって民生の安定と国土の保全とに資することを目的とする。

総事業費 118百万円

事業概要図・写真



事業評価結果

	評価項目	評価内容
事業効果等	①費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	計画全体事業費120百万円→精算全体事業費118百万円 計画工期H26～H29→実施工期H26～H29
	②事業の効果の発現状況	・擁壁の設置により、がけ崩れからの不安が払拭され、安全に暮らせる環境が整備された。 ・避難所である馬路小学校や要配慮者利用施設である馬路幼稚園を保全することにより、地域の防災力向上に寄与した。 ・土砂災害警戒区域が設定され、警戒避難体制の促進を図ることができた。
	③事業実施による環境の変化	地形・地質の改変を最小限とするよう施設配置等に配慮しており、現在環境の変化は認められない。
	④社会経済情勢の変化	土地利用や保全対象に変化は無く、事業の必要性は確保されている。
	⑤課題と今後の事業への反映	要配慮者利用施設の保全や緊急輸送路の整備など、事業効果の高い箇所から重点的に整備し、災害時においても安全かつ安心できる生活基盤の確保に貢献する。

費用対便益	区分	基準年	B/C	総費用		総便益	
	着手時	平成26年	9.8	123	工事費、調査費	1,205	人家2戸、馬路小学校・幼稚園
	完成時	平成30年	9.8	144	工事費、調査費	1,409	人家2戸、馬路小学校・幼稚園

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※保全対象については、着手時は概略調査、完成時は詳細調査結果に基づいているため、現地状況により数値が異なる場合がある。